

事業の概要

- 【目的】 ○医療機関における特定行為研修等に関する理解を深め、特定行為研修を修了した看護師等の活躍を促進する。⇒チーム医療・看護師の質の向上の推進
 ○専門性の高い看護師のキャリアアップを支援することで、モチベーションの維持・向上による定着促進を図る。⇒離職防止
- 【実施方法】 東京都看護協会への委託⇒施設管理者とのパイプを活用した広報

R3年度実施状況

○令和3年度東京都看護師等キャリアアップ支援事業実施に係る調査の実施

- 【調査内容】 専門的看護師の在籍状況、特定行為の実施状況
 【調査対象】 都内病院、有床診療所
 【調査期間】 令和3年5月14日～令和3年6月11日
 【調査時点】 令和3年4月1日時点
 【回答方法】 調査票回答方式
 【回収率】 病院36.1%、有床診療所15.9%

《調査結果概要》

- 看護外来相談の開設状況 全体30.9%、病院35.5%、有床診療所11.1%
- 特定行為研修修了者在籍率 病院32.0%
- 特定行為研修修了者在籍施設における実施率 病院59.5%

※本調査での有床診療所の特定行為研修修了者なし

○シンポジウムの開催

特定行為研修修了者・認定看護師等の活用」をテーマとして、専門性の高い看護師の活用が進んでいる施設の管理者が活用に応じた工夫を講演
 《対象》：施設管理者、看護管理者、医師、看護師、事務等（看護外来の設置済み医療機関、介護系施設も含む）

	実施日	シンポジウムテーマ	実施方法	参加人数
1回目	10月29日（金） 17:00～19:00	看護師の「特定行為」に係る施設の方針決定と開始までのプロセス	オンライン開催・ ライブ配信	145
		特定行為研修修了者の実践報告「急性期病院における特定行為実践」		
		看護管理者が特定行為研修修了者に期待すること		
2回目	12月20日（月） 17:30～19:30	特定行為研修修了者の実践報告「慢性期病院での活動の実際と課題」	オンライン開催・ ライブ配信	133
		特定行為研修修了者の実践報告「急性期病院での活動の実際と課題」		
		特定行為研修修了者の活用の実際と課題		
3回目	2月26日（土） 13:30～15:30	在宅・慢性領域における訪問看護室での実際と可能性	オンライン開催・ ライブ配信	93
		在宅医療・緩和ケア領域での活動の実際と可能性		
		医師から見た特定行為研修修了生の活動の実際と可能性		